

国際交流事業 長崎大学 環境サマースクールの実施報告

長崎大学環境科学部では、日本学生支援機構(JASSO)の海外留学支援制度などの支援を得て、学生の派遣および受入事業を行っています。このたび、2025年7月7日～8月29日に「長崎で学び、グローバルに活躍する国際環境エキスパート養成プログラム」として、環境サマースクール「Asian Environmental Resilience Research Initiative 2025(AERRI2025)」を実施しました。長崎大学の環境科学部、工学部、大学院総合生産科学研究科の学生(合計21名)が、タイ王国のマヒドン大学の学生(10名)および中華人民共和国の蘇州科技大学の学生(5名)とともに参加しました。学際的な環境科学の講義を行う国際環境エキスパートセミナー(IEES)、アジア環境レジリエンス研究センター(AERRC)と連携した環境フィールド研修、PBLグループワーク、研究室インターンシップなどを実施しました。環境フィールド研修では、ユネスコ世界ジオパークに指定されている島原半島を訪問し、自然と人との関わりなどについて学びました。また、PBLグループワークでは、5つのグループに分かれて、環境に関わる課題「Marine Plastic Pollution」「Water Crisis」「E-waste Issue」「Urakami River Conservation」「Waste in Tourist Areas」について、現状や取り組みの状況を調査して、解決策について議論し、その結果を発表しました。

